

かたる 談

人生 仕事

女優

浅利香津代さん(71)

▶▶ 1



△浅利さんは秋田市で生まれた。母を4歳で失い、嫁だった父は失意のうちに岩手県山田町の実家へ帰郷。残った浅利さんは秋田駅前で旅館を営む祖父母に育てられた

△浅利さんは秋田市で生まれた。母を4歳で失い、嫁だった父は失意のうちに岩手県山田町の実家へ帰郷。残った浅利さんは秋田駅前で旅館を営む祖父母に育てられた

△浅利さんは秋田市で生まれた。母を4歳で失い、嫁だった父は失意のうちに岩手県山田町の実家へ帰郷。残った浅利さんは秋田駅前で旅館を営む祖父母に育てられた

△浅利さんは秋田市で生まれた。母を4歳で失い、嫁だった父は失意のうちに岩手県山田町の実家へ帰郷。残った浅利さんは秋田駅前で旅館を営む祖父母に育てられた

(6回続)

ジジババに育てられ 内弁慶な少女時代

△呼ぶので振り向くと、母が目で訴えるんだ。そうですが、「和子を頼む」と。「分がってる」。そう言って、ババはお堀端を泣きながら帰った。「栄子(母)も病室で泣いでだべ」。母の死後、ババは何度も話してました。

△内弁慶で甘えん坊。浅利さんは祖母の着物の袖からなかなか手を離さない少女だった。幼稚園にもなじ

「演劇に出ていた。引っこ思案な子どもでした」と語る

△呼ぶので振り向くと、母が目で訴えるんだ。そうですが、「和子を頼む」と。「分がってる」。そう言って、ババはお堀端を泣きながら帰った。「栄子(母)も病室で泣いでだべ」。母の死後、ババは何度も話してました。

△小学校に上がる時も、ババが学芸会でいい役をもらえたようにと本の読み方を教えてくれました。国語の授業がある前日は必ず猛烈授業。私が読むと、「何とぞ喜ぶが、喜ぶが、喜ぶが、喜んで読め」という調子。思えば、ババ

△高校2年の時にプロの劇団公演があり、演劇部員が受け付けを手伝う代わりに見せてもらえたんです。本物の演劇を見るのは初めてだったのですが、感動しました。大人になつたら絶対芝居やる」と強く思いました。

△日本舞踊は6歳から習い(聞き手は生活文化部・成田造)

△次回は20日掲載



△岩手の実家に帰ることを決め、一人娘の私を連れて、こうしたけれど、ジジババ(祖父母)が私を手放さなかつたのです。

△私は寝間着姿の母しか記憶にありません。何しろ4年間、ずっと寝たきりで病院にいるんですから。秋田市千秋公園を囲む内堀の曲がった先に母が入院して

△岩手の実家に帰ることを決め、一人娘の私を連れて、こうしたけれど、ジジババ(祖父母)が私を手放さなかつたのです。

△前進座などを経て現在は芸能プロダクション「あさり座」所属。80年に舞台

△「新迦内極唄」で文化庁芸術祭優秀賞。NHK連続テレビ小説「雲のじゅう川三代」など出演作多数。

△4歳の時、入院中の母と病院で撮った一枚。撮影用に寝間着から着物に着替えた母は、この2ヶ月後に亡くなつた

△